

I S 酸素投与キット (I S エコライト高濃度酸素マスク)

再使用禁止

ISF0020

【警告】

使用方法

- ・本品を使用する際は患者の状態をモニタリングし、患者の状態に応じて生体情報モニタを併用すること。[室内の空気が酸素マスク内に入らないため、酸素チューブのキンク等により酸素の流れが止まると、呼吸困難に陥る危険性がある。]
- ・使用前に接続に誤りがないか、使用前及び使用中に各接続部が機密かつ確実に漏れや閉塞がないか、また、酸素の吹き出しを確認すること。[適切な呼吸管理が行えないおそれがある。]
- ・使用前にバルブの機能が正常であることを確認すること。[バルブの動きが悪いと十分な酸素吸入及び呼気排出ができなくなる。]
- ・本品を気泡型加湿器と使用する際は以下の点に注意すること。[バックプレッシャーがかかりアラームが作動することがある。その際は、加湿器を外して使用すること。]

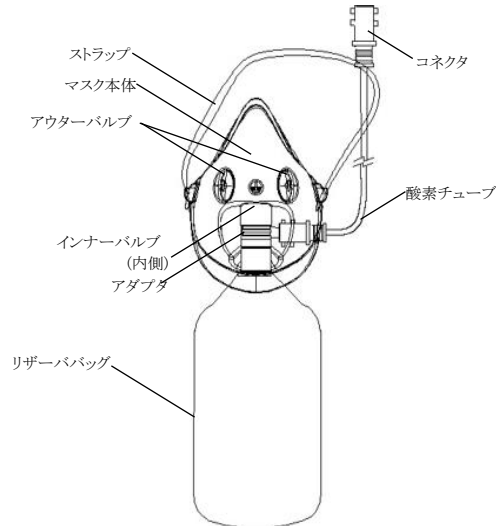
【禁忌・禁止】

使用方法

- ・再使用禁止
- ・本品は火気のある場所で使用したり、油、グリス又は油性の軟膏等発火のおそれのある物を近付けて使用しないこと。[火災、爆発による火傷のおそれがある。]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状



2. 原材料

マスクの装着部は熱可塑性エラストマー製である。

3. 種類

サイズ
成人用

4. 原理

本品の酸素マスクはリザーババッグを備えており、呼気時にバッグの中に酸素を貯え、吸気時にバッグ内に貯えた酸素と酸素供給ラインからの酸素を吸引させる仕組みになっており、通常の空気・酸素マスクよりも高濃度の酸素を患者に供給することができる。

【使用目的又は効果】

本品は、酸素供給に用いる器具のキットである。

【使用方法等】

1. 酸素チューブの片方のコネクタ酸素マスクのアダプタに接続する。
2. 酸素チューブのもう一方のコネクタを酸素供給ラインに接続する。
3. 適切な酸素流量となるようにフローメータを設定する。
4. しっかり接続されていることを確認し、リザーババッグに酸素を充填する。
5. マスクが患者の鼻と口を覆うようにして当て、ストラップを耳の上から首の周りに掛ける。耳の下から掛けることも可能である。
6. ストラップの両端をそっと引張り、マスクを患者の顔に固定する。

[リザーババッグを用いた酸素供給について]

- ・正しい酸素供給量は、リザーババッグが殆ど膨らんだ状態、もしくは、吸気の終わりに少なくとも1/3程膨らみが残る状態である。一般的に推奨する酸素流量は10L/分以上である。

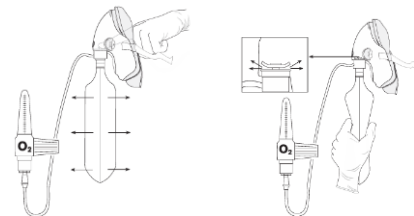
[バルブの機能について]

- ・酸素マスクとリザーババッグ間のインナーバルブは、吸気時に開き、呼気時に閉じる。
- ・酸素マスクにあるアウターバルブは、呼気中開いている。
- ・酸素供給量が不足して十分に吸気量が得られない場合は、アウターバルブを片方外し、外気を取り込めるようにして使用すること。

<使用方法に関連する使用上の注意>

酸素療法を開始する前に以下の点を確認すること。

- ・アウターバルブとインナーバルブの機能が正常であることを確認すること。



- ・インナーバルブが自由に動くことを確認すること。

注：インナーバルブの動きが悪いと酸素が十分に供給されない。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・吸入酸素濃度は患者の呼吸パターンによって異なる。

【保管方法及び有効期間等】

<保管の条件>

- ・水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて室温で保存すること。

<有効期間>

包装の使用期限欄を参照[自己認証による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

株式会社インターメドジャパン
大阪市中央区道修町1-6-7 TEL:06-6222-1951

■外国製造所

インターサージカル社 (Intersurgical Limited) 英国

—製造販売元—

 株式会社 インターメド ジャパン